

樺山発電所の概要

1. 発電所ならびにリパワリング工事の概要

- (1) 設置場所：秋田県湯沢市
 (2) 水系河川：雄物川水系役内川（一級河川）

○リパワリング前後の発電所の比較

	リパワリング前	リパワリング後
発電形式	水路式	
最大出力	340kW*	
有効落差	27.26m	
使用水量	1.80m ³ /s	
水車形式	横軸単輪単流フランシス水車	
発電機形式	横軸三相同期発電機	横軸三相誘導発電機
台数	1台	
運転開始時期	1921年	2024年12月 (今回運転開始)

※ リパワリング後の機器性能上の最大出力は380kWであるものの、系統容量の制約（空き容量なし）により、発電所の最大出力は340kWとなる。

○リパワリング工事の特長

- ・ 発電機形式を同期発電機から誘導発電機に変更することによるメンテナンス性の向上。
- ・ 水車発電機の効率向上による発電電力量の増加。
- ・ 発電所本館が歴史的価値を有していることを踏まえた必要最小限の建屋改修。

2. 工事後の発電所の様子



水車発電機外観



発電所全景

以上